



パワーショベルは1班の国本さんの操縦

5月から6月は地域一斉清掃の時期です。この期間に小郡地域のすべての自治会が水路の清掃など取り組みます。八方原自治会では12日の日曜日に配水路の清掃を行いました。

昨年から機械力を導入しながら、効率的に作業をできるように計画しました。今年度はできるだけ、人の力での泥の引き上げはしなくて済むように、水路の中で土砂を移動させる方式を採



水路の中を一輪車で土砂を移動させる新方式



日鉄 P&E の皆さまには大きな負担をおかけしました

上流の水路幅の狭いところは、今までのように手で引き上げるしかなく、かなり厳しい仕事になりました。

都市ガスの配管工事で3年前から当自治会に関係する場所を工事してきた日鉄パイプ&エンジニアリング社の11人も応援に駆けつけてくれました。

皆さま、大変お疲れさまでした。見違えるようにきれいになりました。

用しました。堆積した土砂を一輪車に積み込んで、水路の中を移動させます。山のように積みあがった土砂をパワーショベルで掬い出すという方式です。

## 共同で水路クリーンアップ

上流の水路幅の狭いところは、今までのように手で引き上げるしかなく、かなり厳しい仕事になりました。

## 農地を守る泥上げ清掃



排水路の総延長は1,500メートル、30人でもかなりの仕事量です。

5月6日、10連休の最後の日に農業用の排水路の清掃を行いました。冬の間にとまった汚泥や雑草を掬いあげる作業です。

水路の中に倒れこむように繁茂した草も除去していきます。幅も狭く特別な機械もないので、100%人の力で作業ではないでしょうか。

農道の下をくぐる暗渠部分は特に泥が貯まりやすいので、長い柄のついた特別な鋤簾が必要になります。

5月は毎週行事があつて、とても忙しい月になります。この排水路の泥上げが終わったら、2時間後には公民館での避難訓練でした。実際に危機に直面した時に、その経験が大きな力になるはずですよ。

# 運動会のテントの中に子どもたちの声



男子のムカデ競争、慎重にコーンを回る

5月19日は小郡地域大運動会でした。参加自治会は19チームという少々さみしい状態です。八方原自治会も全種目に出場する予定で参加しました。当日は朝から雨がぼつぼつ落ちるようなあいにくの天候、得点競技だけを行うという変則的な大会となりました。それぞれの競技で全員奮闘しましたが、総合12位という結果となりました。予定した選手が出場できなくなりました。

ともあって、一人が何種目も出るようなことになりましたが、最後の区対抗リレーまで無事に終わることができました。今やこうした大運動会は運営できなくなってきたのかもしれない。今回の参加チームは全自治会の3分の1にも満たない状態です。運動会の担当となる体育推進委員には誰もなりた

## 地域の事業所の方々の力を借りました

5月9日、自治会内の有志と、事業所の有志とで岩屋地区から流れてくる九田川支流の泥上げを行いました。

岩屋地区から流れてきた水路は荒神様の西側を周りこんで市道を横断して本流に合流します。その途中、荒神様の斜面から流れ落ちる水流に土砂が混ざって、堆積してしまふのです。

本来は岩屋地区の人々が管理するように話し合いが行われ、約束ができていたようですが、高齢化と参加者の減少で作業が難しくなってきたために、こうした活動となったのです。今回の参加者は26名、水路に堆積し



区対抗リレーは女子からスタート右端が八方原



水路の深さがあるので、泥上げには専用バケツが必要

くないという声もしばしば耳にします。時代と共にこうした行事も形を変えていくことになるのかもしれない。競技が終わって関係者の慰労会。たくさんの方の参加を頂きました。中でも小さいお子さんが10人も来てくれました。この最近ではないことでした。確かに賑やかすぎることもありすが、元気の良い子どもたちの声と姿は本当に嬉しいものです。運動会でなくても、行事に参加することで、いろいろな経験ができます。また次の機会に頑張ります。

た土砂を引き上げ、指定した集積所に集めました。



作業時間は正味30分ほどでしたが、これだけの人数で行うと、大きな力となります。参加の皆さん、お疲れさまでした。参加の記録にパチリ